



## 世界自閉症啓発デー in HAKODATE 2015

2007年の国連総会で、中東カタール王国王妃の提案により  
毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」(World Autism Awareness Day)  
とすることが決議され、地球規模で様々な取り組みが行われています。

日本でも、日本自閉症協会や厚生労働省等の関係諸団体により日本実行委員会が組織され  
4月2日～8日を発達障害啓発週間として  
東京タワーのブルーライトアップなど、毎年各地で多彩な啓発イベントが開催されています。

ここ道南の地でも、多くの方々のご協力をいただき  
世界自閉症啓発デー函館地域実行委員会が2013年から活動をスタートしました。  
愛すべき自閉症の人たちとのご縁が無かった人、関わる機会の無かった人たちに  
少しでも関心を持ってもらえるような、小さなきっかけをつくるのがこの活動の一番の目的です。

地域のテーマは『Blue in the Diversity』  
「多様性の中のブルー」です。

自閉症に限らず、さまざまな障がいや疾患のある人たち、国籍や人種の違う人たち、  
他にもたくさん、実は近くにいる少数派の人たちが安心して暮らせる社会  
多様性をポジティブに受け入れることのできる、全ての人に対してあたたかい社会こそが、  
私たちの目指す地域の姿だと考えています。

世界自閉症啓発デー函館地域実行委員会  
2015.4.2 Thu

<http://blue.hakodate-hkd.info/>

北海道の世界自閉症啓発デーの公式ロゴです。ブルーは啓発デーのシンボルカラー、パズルピースは自閉症の象徴です。希望の光を手に行っているのは「北うさぎ」。道南でしか出会えない、ステキなご当地キャラクターです。  
北うさぎ工房さんご厚意で使用許可をいただき、サクセンカイギ社さんにデザインをしていただきました。



# 五稜郭タワーアトリウム会場

## \* 開会セレモニー \*



実行委員会 大場委員長 挨拶



北海道自閉症協会道南分会 会長  
道下康子様



七飯町教育委員会 教育長  
與田敏樹様



渡島教育局 局長 成田祥介様



函館市教育委員会教育長  
山本真也様

北斗市教育委員会教育長  
永田裕様 (代理) にもご挨拶  
いただきました。

五稜郭タワーから GO 太くん  
北斗市から ゴーしーほっきーも  
駆けつけてくれました。

## \* BLUE の音楽祭 \*



第3海星ふっとの皆さん



Jack Mows さん



トラベリングバンドひのき屋の皆さん



広い会場いっぱいの輪  
ゴーしーほっきーと  
GO 太くんも参加して…  
会場の皆さんも演奏に合わせて  
さあ一緒に！

加藤副委員長が →  
締めくくりました



## \* 第二回 自閉症啓発デー・アート展 \*

函館市文化スポーツ振興財団さんとの共催で、函館在住の画家 外山欽平氏と安積徹氏の監修のもと、  
 コジマ店装様、大野基氏、附属特別支援学校様、五稜郭支援学校様、函館養護学校様、NPO 法人わっと様、  
 他、多くの皆さまのご協力をいただき、3月29日～4月2日の5日間、函館市芸術ホールにて開催しました。



札幌や埼玉からの友情出品も含め、108点の展示作品を550名以上の方々にご覧いただき、  
 作品やアート展自体への感想、また、作家さんへのコメントもたくさん寄せていただきました。  
 会場の一角には発達相談コーナーや、関連書籍閲覧コーナー、子どもが遊べるボールプールも設置しました。



自閉症の人やその他の障がいのある人たち、そして  
 そんな少数派を応援する人たちのアート展です。

応援企画「ブルーの写真展」にも  
 多数のご参加をいただきました。

## 自閉症啓発デー・アート展 特別親子企画

### \* ブロックでオリジナル作品を作ろう@出張ブリックラボ \*

ブロック作家かたおかしんごさんの全面的なご協力をいただき、  
 人気のカネモリブリックラボが芸術ホールに出現しました。



かたおかさん作  
 ブロック製 北上さぎのゴ  
 ほん、うさぎの手が動くんです！



開始前の会場  
 途切れることなくたくさんの親子が  
 参加し、時間を忘れて遊びました。



子どもたちの作品の数々→

＊ はこだてマルシェ×世界自閉症啓発デー ＊  
『あおいろ』

函館薫屋書店さんの「はこだてマルシェ」とのコラボレーション。  
啓発デー直前の週末2日間、テーマカラーのブルーをコンセプトとして多様な人々が集う場を作る試みに、  
道南のアーティストやこだわりのお店など17軒が、集まってくださいました。  
おとほも子どもも、皆の笑顔が集まる、心優しい2日間の市場が出現しました。



←出店者の皆さまとスタッフ  
特別支援学校の先生方が  
「あおいろサポーター」として  
サポートが必要なお客様のため  
に待機してくださいました。  
会場設営には工房・虹と夢の  
皆さまに多大なご協力をいただき  
ました。

写真手前には、薫屋書店さんが準備して下さった自閉症関連書籍のブース

出店協力 (順不同・敬称略)

ちいさなほおせパン☆・こなひき小屋・ハ雲チーズ工房・キッチョコ パスティッチョ・三月の羊  
八百屋 すず辰・ワイン屋 みのもや・佐藤国男・画廊一花・工房てしごと・はこだて工芸舎・710CANDLE  
yoonoo felt works tana・studio\_b・The Glass Studio in Hakodate・Cloud 9・函館薫屋書店・Cog～はぐるま～

＊ ものづくり講座 ＊

『青い紙飛行機を作って飛ばそう！』

『あおいろ』開催と並行して、親子でブルーの紙飛行機を作り、薫屋書店のお庭で飛ばす講座を開催。  
参加者の皆さまには、講師 郷六優輝さんの奥深い紙飛行機の科学の世界を楽しんでいただきながら、  
自閉症についてもちょっぴり知ってもらいました。



＊ ものづくり講座 ＊

ものづくりを通して知る それぞれの個性

昨年に引き続き、ブルーをテーマにしたものづくり講座をおこないました。  
地域で活躍する講師陣が、優しくていねいに手ほどきし、自閉症の人も自閉症ではない人も  
おとも子どもと一緒に、自閉症の話もちょっぴりしながら、すてきな時間を過ごしました。



『羊毛フェルトで作るしあわせの青い鳥』  
yoomoo felt works tama 玉山知子さん



『かわいい動物石けんを作ろう』  
CoLeColle スタッフの皆さん



参加者に  
自閉症や啓発デーの  
説明をするスタッフ



『青の花畑キャンドル』  
CANDLE liLy sayuri さん



『verde CHIOSCO flower lesson ～Blue flower Bouquet～』  
verde CHIOSCO 荒倉風太さん

＊ 公開座談会 映画と自閉症 ＊

障がいや自閉症をテーマにしたすてきな映画が、こんなにたくさんあるなんて！  
地域の映画スペシャリスト達が、そんな映画について熱く語りました。  
函館蔦屋書店のDVD レンタルコーナーでは、自閉症関連映画の特設ブースも作っていただきました。



IPネリストは右から、小川秀平さん（函館蔦屋書店 映画コンシェルジュ）  
高橋裕さん（函館港イルミネーション映画祭 実行委員） 渡辺修子さん（シネマアイリス スタッフ）  
米谷志緒さん（劇団G4）。司会は岩田昌子さん（発達障害者支援センターあおいそら）。

## 金森赤レンガ倉庫会場

### 北海道小鳩会函館分会共催企画 \* 南坪あゆみさんハープ演奏会 \*



3月21日は「世界ダウン症の日」  
ダウン症の日と自閉症啓発デーの間の  
3月29日 日曜日、ダウン症の親の会  
「小鳩会」とのコラボレーション。

ダウン症のミュージシャン南坪さんの  
やさしいハープの音色に  
会場いっぱいの聴衆はうっとり  
と聴き入っていました。



小鳩会の皆さんは、3月21日にダウン症の啓発チラシ配りもおこないました。

### \* 展示とクイズで小さな啓発活動 \*



会場の壁には、ダウン症当事者の皆さんの  
作品やアルバム、自閉症に関するパネルも  
展示されました。

4月2日には、Bay Galleryで  
観光客の皆さんを啓発。自閉症クイズで  
豆知識をお持ち帰りいただきました。  
啓発グッズの販売も好評でした。

## ポールスターショッピングセンター会場

### \* 自閉症クイズ \*

港町のショッピングセンターでも、買い物に来るお客様たちを対象に  
啓発活動をおこないました。



ショッピングセンター内の「くまがわ書店」さんでは、  
自閉症関連書籍特設コーナーを作っていました。

\* The Indigo Inspiration \*  
インディゴインスピレーション



4月2日~12日  
自閉症スペクトラム当事者でもある  
若手アーティストたちの個性豊かな作品を  
カフェいっばいに展示しました。

4月2日の啓発デー当日には  
当事者がお客様の質問に答える  
コミュニケーション企画もおこなわれ  
楽しくやさしい時間が流れました。



\* 発達障がい啓発週間 トークイベント \*  
- 発達障がい者の発達 -

啓発週間中の日曜日、自閉症スペクトラム成人当事者の会「よせなべ」代表の白崎やよいさんが講演しました。



北海道新聞より

画廊一花会場

\* 安積徹 青い世界・「彼方へ」展 \*

自閉症啓発デー・アート展の監修をいただいている日本画家 安積徹氏の「青」をテーマにした作品展が  
啓発週間に合わせた4月2日~5日に開催されました。岩絵の具の煌めく神秘的な世界です。



北海道新聞「みほみ風」より

## \* 映画『シンプル シモン』 上映 \*



アスペルガー症候群の主人公を描く  
スウェーデン発のおしゃれラブコメディ  
シネマアイリスさんのご厚意により、啓発週間に合わせて  
1020、1週間上映していただきました。



シネマアイリスさんや事務局の他、  
五稜郭支援学校さん、はるこどもクリニックさん、  
かとうメンタルクリニックさん、NPO 法人わっとほさん、  
サポートセンターぱすてるさん、おしま地域療育センターさんなどにも  
市民の皆さんへの前売券販売にご協力いただきました。

## 各会場にて

### \* 啓発ポケットティッシュの配布 \*

ボランティアの皆さんの笑顔とともに、啓発ポケットティッシュおよそ2,000個を配布しました。



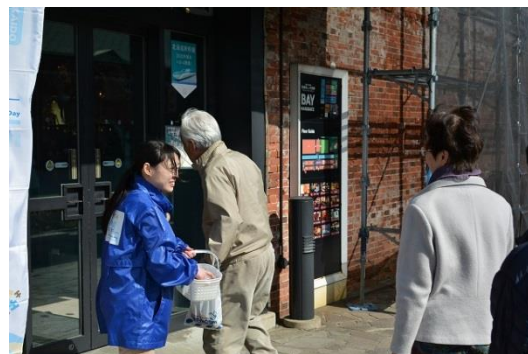
五稜郭タワーアトリウム内



五稜郭タワー周辺



ポールスターショッピングセンター  
函館商業高校と函館稜北高校の皆さん



赤レンガ倉庫  
五稜郭支援学校の先生方



# 世界自閉症啓発デー in Hakodate オリジナルグッズ



オリジナルクリアファイル  
デザイン：サクセンカイギ社さん

羊毛フェルト製  
北うさぎストラップ  
デザイン&製作：北うさぎ工房さん



中国工芸茶  
提供：café 茉莉花さん

自閉症を知って  
いただくための  
メッセージカード  
入りにしました



手作りのブルーの星のストラップ  
匿名でご寄付いただきました。



啓発ポットティッシュ デザイン：サクセンカイギ社さん  
製作協力：遺愛学院・函館白百合学園・函館商業高校の皆さん

オリジナル啓発グッズを各会場でお分けしました。



函館蔦屋書店マルシェ『あおいろ』  
Cog ~はぐるま~ さんが、福祉事業所製品販売とともに取扱い。Cogさんの店舗にも置いていただきました。



五稜郭タワーアトリウム



ポールスターショッピングセンターや赤レンガ倉庫にも  
啓発デー限定の取扱いブースが設けられました。



夕暮れ時  
ライトアップ点灯式会場

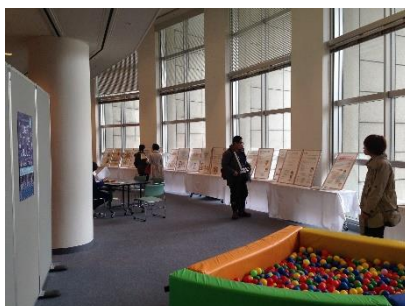
# 展示

## \* IPネル・ポスター \*

道内4カ所の発達障害者支援センターが共同制作した啓発IPネルを各会場に展示しました。



五稜郭タワーアトリウム



芸術ホールギャラリー  
(アート展会場)



ポールスターショッピングセンター



赤レンガ倉庫 Bay Gallery

サクセンカイギ社さん渾身のポスター  
道南100カ所に貼られ  
注目を集めました。



## \* 自閉症当事者制作DVD上映 \*

七飯町在住のKAZUMAくんが啓発デーのために作ってくれた特製デジタル絵本を各会場で上映。  
子どもたちに大人気でした。



五稜郭タワーアトリウム



ポールスター  
ショッピングセンター



赤レンガ倉庫 Bay Gallery

この他、芸術ホールや函館薫屋書店でも上映。

北海道新聞「みなみ風」にも  
南坪あゆみさんとともに  
大きく取り上げられました



# 北海道立函館美術館前広場

## \* 点灯式 \*

函館市長代理として函館市保健福祉部長の種田貴司様、  
函館市医師会会長代理として副会長の恩村内科院長 恩村宏樹様、  
衆議院議員の前田一男様、逢坂誠二衆議院議員の代理として小島純様、横山信一参議院議員の代理として  
奥様の横山美幸様、北海道自閉症協会道南分会会長の道下康子様にご挨拶をいただきました。  
田中透様、白崎やよい様のお二人の自閉症当事者もそれぞれの思いを語ってくださいました。  
他にもご来賓として、北斗市議会議員の池田達雄様をはじめ、  
北海道議会議員、函館市議会議員、北斗市議会議員の方々にも多数ご来場いただきました。



集まった参加者はおよそ 200 人 市立函館高等学校吹奏楽局の皆さん 来賓の皆様、スタッフ、皆一緒に  
すべての人たちが自分らしく生きられる社会を願って、タワーを見上げます。



カウントダウン そして ファンファーレとともに… ライトアップブルー！



## 五稜郭タワー ブルーライトアップ

五稜郭タワー株式会社様、北海道立函館美術館様、函館市芸術ホール様、  
函館市教育委員会様、函館市保健福祉部様のご協力  
そして、エゾ共和国の皆様のカ強いバックアップ  
また、多くの皆様の温かいご支援のもと  
今年もブルーライトアップが実現  
18:30の点灯から21:00までの2時間半、五稜郭タワーは青く輝きました。

FM いるか様、北海道新聞社様、函館新聞社様、NHK 函館放送局様、NCV 函館様など  
マスコミ各社からも関心を寄せいただき  
さまざま側面から取材していただきました。

皆々様に厚く御礼申し上げます。

青く染まったタワーに、街中の人たちの何人かが気づき、  
そしてその内の何人かが、「なんで、今日、青くなっているんだろう？」と疑問に思い、  
さらにその内の何人かが、インターネットなどで「自閉症啓発デー」にたどり着いてくれたら…  
少しずつですが、そんな思いでこれからも活動を続けて参ります。



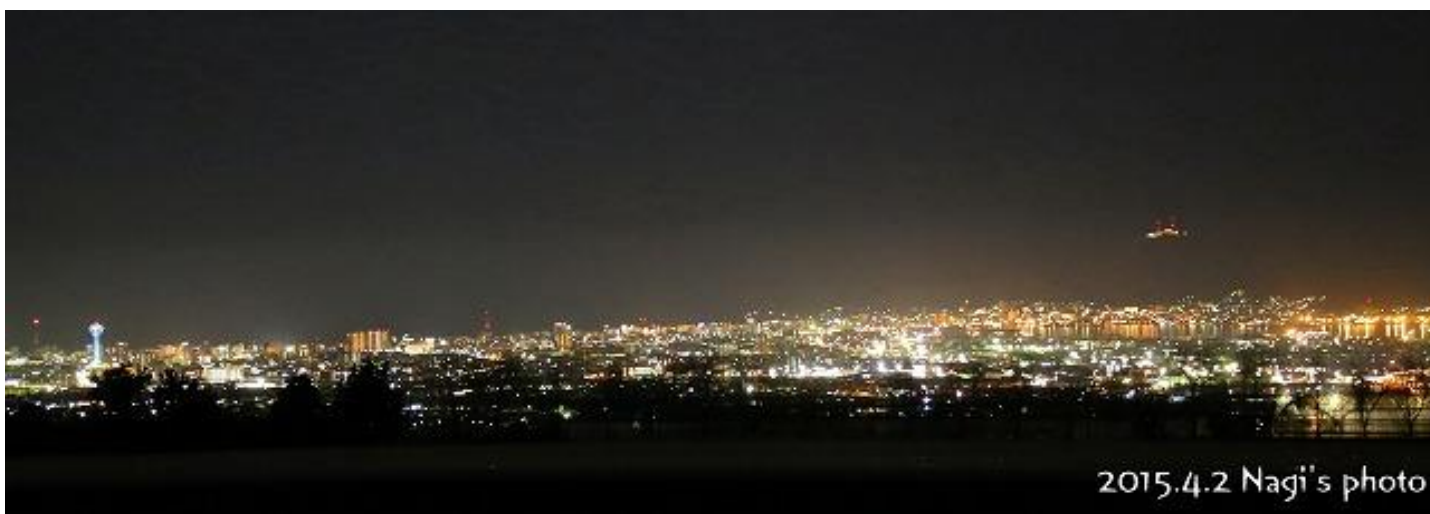
ありがとうございました

たくさんの方が、青く染まったタワーをすてきな写真におさめてくださいました。  
ほんの一部を掲載させていただきます。

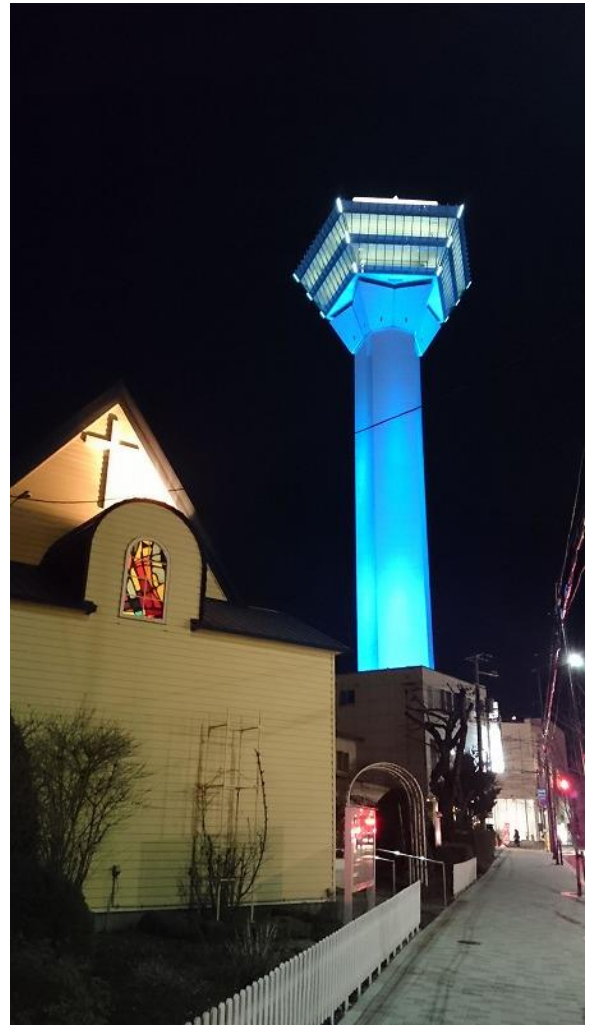


<写真提供：青山弘志さん>

多様な表情を見せてくれるブルーの五稜郭タワー、静かにみんなの幸せを願ってくださっているようです。



<写真提供：麻薙悠子さん>



<写真提供：鶴田宏樹さん>



世界自閉症啓発デー一函館地域実行委員会  
事務局：発達障害者支援センターあおいそら内

<http://blue.hakodate-hkd.info/>

<https://www.facebook.com/LIUBHakodate>